

基本方針

鴻ノ池運動公園においては、奈良市で初めてネーミングライツを導入した施設として、2016年（平成28年）10月から奈良電力株式会社が、2021年（令和3年）4月からロート製薬株式会社がスポンサーとなりました。ネーミングライツにより付けられた愛称は、各種全国大会開催、奈良クラブをはじめとするプロチームのホームゲーム開催等で、全国的に、広く施設の名前が知られるようになりました。

2026年（令和8年）3月31日を以って契約満了となることから、改めて「鴻ノ池運動公園」のネーミングライツ（施設命名権）を募集し、スポンサー（事業者等）の広告及び地域貢献の機会を拡大します。また、スポンサーとのパートナーシップにより、市の施設の魅力向上、地域の活性化、持続可能な財政構造の実現、及び利用者・市民サービスの向上に寄与することを目的とします。

【ネーミングライツ対象施設】

奈良市鴻ノ池運動公園（全体）

「鴻ノ池運動公園」の命名権とともに、公園内各施設（下記）の命名権も付与することが出来る。ただし、命名に伴う看板架け替え、標識等の費用、また契約期間終了時の原状回復については、ネーミングライツスポンサーが負担するものとする。

- ・奈良市鴻ノ池陸上競技場、補助競技場、投てき練習場、多目的広場
- ・奈良市中央体育館 ・奈良市中央第二体育館 ・奈良市鴻ノ池球場
- ・奈良市中央武道場 ・奈良市中央第二武道場 ・奈良市弓道場
- ・奈良市鴻ノ池相撲場 ・奈良市鴻ノ池コート
- ・奈良市鴻ノ池スケートボードパーク
- ・奈良市鴻ノ池ランニングステーション

【募集の方法】

募集要項を作成し、「奈良市ネーミングライツ導入に関するガイドライン」における「導入の手続き」に沿って行う。「施設特定募集型」での募集とする。

【金額及び契約年数】

公募最低金額を15,000,000円とし、契約年数においては、契約日から5年～10年の間での提案型とする。（3月31日を以って1年と計算する。）